



## 豊かなむらづくり全国表彰事業（近畿ブロック）受賞団体の決定 ～ 近畿農政局長賞に「大山地区農・水・環の会」～

農林水産省では、農山漁村における「むらづくり」の優良事例を表彰し、その業績を広く紹介することにより全国的な展開に繋げていくために、毎年度、農林水産祭の一部門として「豊かなむらづくり全国表彰事業」を実施しています。

令和6年度の近畿農政局長賞に、「大山地区農・水・環の会」(兵庫県丹波篠山市)が決定しましたので、お知らせします。なお、日本政策金融公庫農林水産事業本部近畿地区統轄賞を併せて受賞しています。

### 「大山地区農・水・環の会」が取り組む“むらづくり”の概要

①老朽化が進む水路や農道などの維持管理・更新等による農業用施設の長寿命化、②高性能草刈り機の導入により急傾斜地等の草刈り作業の省力化。また、獣害防止柵の整備による野生動物の農地への侵入防止、③女性グループ「結良里（ゆり）」による、郷土料理「とふめし」の伝承、地域の希少価値である伝統野菜の「天内芋（あもちいも）」、「大山スイカ」等の収穫体験や販売等を通じた地域住民、都市住民と交流促進、④農地周辺に繁茂した竹林の整備と竹チップの堆肥利用。おかめ桜の植栽、里山整備による景観改善、⑤地域と学校の協働による「地域参加型学校づくり」活動として、伝統野菜の食育、農業体験学習の実施などに取り組む。



【自走式ラジコンによる草刈】



【女性グループがつくる「とふめし弁当」】



【小学生の大山スイカ栽培体験】

詳しくは <https://www.maff.go.jp/kinki/press/keikaku/nousonshinkou/241002.html>



## 10月は「食品ロス削減」等、食に関する取組を実施します！

10月は「食品ロス削減月間」、10月30日は「食品ロス削減の日」です。

農林水産省は、納品期限の緩和や賞味期限表示の大括り化、賞味期限の延長に取り組む食品事業者やフードバンク、子ども食堂等への食品提供に取り組む食品事業者を農林水産省Webサイトで公表するなどの取組を行います。また、消費者庁、環境省と連携し、食品ロスの削減に向けた取組を集中的に普及・啓発します。

詳しくは [https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/240927\\_2.html](https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/240927_2.html)

10月、11月は「食から日本を考える。月間」～「ニッポンフードシフト」の取組強化～

消費者が「食」や「農」に触れ、考えていただく機会づくりのため、10月、11月を「食から日本を考える。月間」とし、10月1日から、本月間期間中に全国で開催される「食」関連の体験やイベント情報をニッポンフードシフト公式WEBサイトで発信します。

詳しくは <https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/241001.html>



食から日本を考える。

**NIPPON  
FOOD  
SHIFT**

キラリ☆  
現場にて

## 食卓に美味しいフルーツを届けたい

〈赤穂市 あこうフルーツ農園 小川敬生さん〉

赤穂市でももとぶどうとみかんの果樹栽培をしている、あこうフルーツ農園の小川敬生さんにお話を伺いました。

### — 就農したきっかけは？ —

幼少期から自然や農業と触れ合う機会が多かったことから将来農業をしたいと思い、農業高校、農業大学校に進学しました。そこで、非農家出身者が農業を行うことの難しさや農業の現実を知り新卒での就農は一度断念しました。

しかし、肥料メーカーに入社し、日本全国の生産現場に赴き、顧客の篤農家の方々に提案、営業を行うなか、各産地の状況に応じた農業経営等を知ることができ、農業という産業への理解が深まり、知識が身に着いたことで、自信を持って農業をしたいと思えるようになりました。そこで、農業大学校時代に就農の夢を語り合っていた同級生を誘い、地元兵庫県での就農を決めました。



(共同経営されている榊原さんと)



(みかん)

### — どのような取組みをされていますか —

ももとぶどうは安定した糖度で出荷するため「根域制限栽培」による栽培に取り組んでいます。また、自作の灌水施肥設備を備え、高品質な果樹栽培にこだわりをもっています。

地域との関わりも大事にしており、「赤穂農業後継者の会」という地域の生産者団体に所属し、定期的に地域PR活動や地域の農業後継者育成等についての意見交換等を行っています。

### — 今後の展望は？ —

地域に根差した農業を心掛け、地域の方々が買い物のついでに買いたくなるような身近なフルーツを目指して生産を行い、引き続き地元の直売所やスーパーで販売していきます。

将来は法人化を検討しており、技術の向上や樹園地が成園になるに伴い収量が増えてきた際は、飲食店等への出荷も行っていきたいです。

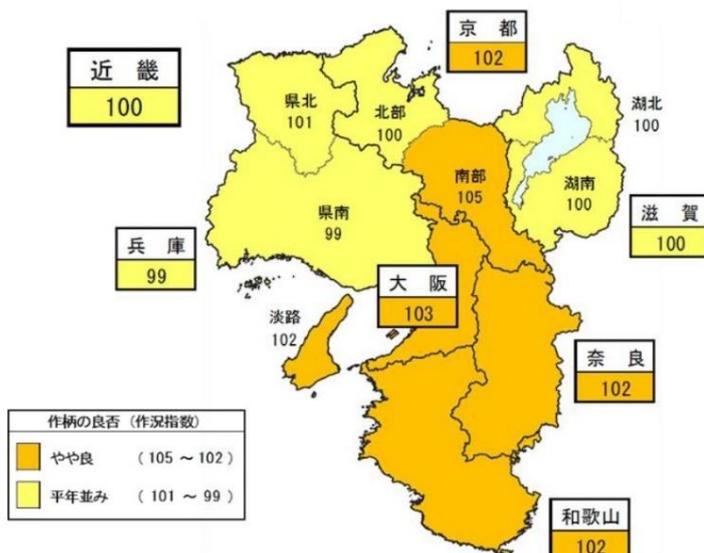


(シャインマスカット)



(もも)

## 令和6年産水稻の予想収穫量 (9月25日現在)



兵庫県における9月25日現在の作柄は、穂数は「少ない」、1穂当たりもみ数は「やや多い」となったことから、全もみ数は「やや少ない」となりました。登熟は、出穂期以降、おおむね天候に恵まれていることから「平常並み」と見込まれます。

兵庫県の農家等が使用しているふるい目幅ベース(1.85mm)の作況指数は99の「平常並み」が見込まれ、作柄表示地帯別では、県南が99、県北が101の「平常並み」、淡路は102の「やや良」が見込まれます。

兵庫県の10a当たり予想収量は496kg、**予想収穫量(主食用)は15万9,700t**が見込まれます。

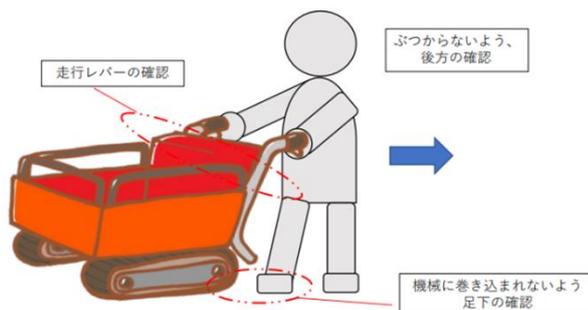
## 農作業 10月のワンポイント 農用運搬車を安全に使おう！

JA共済連の調査によると、農用運搬車の事故は10～12月に多く発生する傾向があることがわかっています。

また、農用運搬車の死亡事故は、「転落・転倒によるもの」、後進時などに「木や構造物と機械との間に挟まれるもの」、「機械に轢かれるもの」が多くを占めています。

機械を過信しすぎず、正しい使用方法を守って、安全な作業を心がけましょう。

詳しくは [https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s\\_kikaika/anzaen/jikojocho.html](https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzaen/jikojocho.html)



歩行型農用運搬車の後進時の確認  
＜令和4年公表資料より＞

## 「令和6年度 病害虫発生予報第8号」の公表 令和6年10月9日農林水産省公表

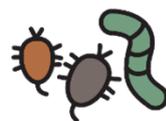
10月9日から向こう1か月の主要な病害虫の発生予察情報（発生予報）については次のとおりです。

ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ及びオオタバコガの発生が、全国的に多くなるまたはやや多くなると予想。

①果樹では果樹カメムシ類②茶ではハマキムシ類の発生が、近畿の一部の地域で多くなると予想。

この他、近畿の一部の地域でやや多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

詳しくは <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/attach/pdf/index-66.pdf>



## 「令和5年度国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」の公表

「国有林野の管理経営に関する基本計画の実施状況」は、国有林野の管理経営に関する法律の規定に基づき、前年度における国有林野事業の取組について公表するものです。

令和5年度の実施状況では、トピックスとして【①新たな「国有林野の管理経営に関する基本計画」の策定、②令和6年能登半島地震への対応、③立木販売結果の公表】の取組を紹介しています。

### 事例として紹介された兵庫県内の取組

#### 森林土木工事におけるICT施工技術の推進 [兵庫県宍粟市 戸倉東山（とくらひがしやま）国有林]



近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署は、降雪等の影響により施工時期に制限がある地域や侵食が進行して危険度が増した山腹崩壊斜面において、効率性と安全性を確保・向上させた施工体制を構築するために、ICT法面掘削技術の導入を図りました。

その結果、作業日数、高所急斜面での作業時間を短縮することができました。

写真：ICT法面掘削機による施工、（左下）ガイダンス画面

#### 赤西（あかさい）スギ・トチノキ・シオジ等希少個体群保護林の新設 [兵庫県宍粟市 赤西国有林]



近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署は、赤西国有林で、特別母樹林となっている天然スギ群やトチノキ、シオジ等の巨木が混交する林分が確認できたことから、専門家と現地調査を実施し、保護林として保護・管理するよう検討してきました。

この結果、地域の貴重な遺伝資源である天然スギ群の存在や、中国山地で希少なシオジの分布等についての価値が評価され、新たに「赤西スギ・トチノキ・シオジ等希少個体群保護林」を設定することとなりました。

写真：巨大天然スギ

詳しくは [https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu\\_rinya/jissi/attach/pdf/jyokyo\\_2023-13.pdf](https://www.rinya.maff.go.jp/j/kokuyu_rinya/jissi/attach/pdf/jyokyo_2023-13.pdf)



## 令和6年産の水田における作付状況について公表しました

農林水産省では、需要に応じた生産・販売を行うことができるよう、地域農業再生協議会からの聞き取りに基づき、都道府県別及び地域農業再生協議会別の作付状況等を公表しています。

令和6年産の水田における主食用米及び戦略作物等の作付状況（令和6年9月15日時点）を10月11日に公表しました。

全国の主食用米の作付面積は、都道府県ごとの増減があるものの、前年実績（124.2万ha）から1.7万ha増加し、125.9万haとなりました。

また、戦略作物等の作付面積は、飼料用米及び米粉用米が減少し、新市場開拓用米、加工用米及びWCS用稲が増加するとともに、麦、大豆及び飼料作物等については、1.8万haの畑地化により、水田における作付面積（基幹作）が減少しました。

兵庫県における主食用米の作付面積は、前年実績（32,500ha）から300ha減少し、32,200haとなり、戦略作物等については、WCS用稲、新市場開拓用米、麦が前年より増加しました。

詳細は、農林水産省並びに近畿農政局のホームページをご覧ください。

### <都道府県別作付状況>

農林水産省HP：[https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s\\_taisaku/241011.html](https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s_taisaku/241011.html)



### <近畿地域農業再生協議会別作付状況>

近畿農政局HP：<https://www.maff.go.jp/kinki/press/sinko/241011.html>



令和6年産の水田における作付状況

(ha)

	主食用米			戦略作物等											備蓄米
	①	<参考>		加工用米	新規需要米					麦	大豆	飼料作物	そば	なたね	
		前年産 (5年産) ②	増減 ①-②		新市場 開拓用米 (輸出用米等)	米粉用米	飼料用米	WCS用稲 (稲発酵 粗飼料用稲)	その他						
全国計	125.9万	124.2万	1.7万	50,197	11,246	6,330	98,666	56,479	69	103,099	84,416	49,471	23,984	575	30,014
兵庫	32,200	32,500	▲300	667	215	40	690	1,040	6	1,954	1,620	730	108	8	—

## 有毒な野生きのこによる食中毒にご注意を！

毎年、有毒な野生きのこによる食中毒が発生しています。食中毒が特に多いことが報告されている毒キノコの例として、ムキタケやヒラタケ等と間違えられやすいツキヨタケや、ウラボシホテイシメジやハタケシメジ等と間違えられやすいクサウラボシタケがあげられます。

食用きのこと同様間違えられやすい毒きのこは、見た目が似ているだけでなく、食用きのこと同じ場所に生えていることがあり、見分けることが困難な場合があります。

**食用であると確実に判断できない野生きのこは、採らない、食べない、売らない、人にあげないようにしてください。**混ざってしまった場合、後から見分けることは困難です。

少しでも疑わしいと感じた野生きのこは採らないでください。

野生きのこの出荷者、農産物直売所等の販売施設や飲食店の運営・管理者の皆様は、野生きのこを出荷・販売する際にご注意ください。



ツキヨタケ(左)とクサウラボシタケ(右)  
(写真：厚生労働省提供)

詳しくは <https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/rinsanbutsu/yaseikinoko/yaseikinoko.html>



## 地方参事官ホットライン

農政に関するご相談、事業や制度へのご意見・ご質問などがございましたら、お気軽に地方参事官ホットラインまでお問い合わせ下さい。また、広報誌に対するご意見等もお待ちしています。

**TEL : 078-331-5924 Email:hyogo28\_hsatt\_kinki@maff.go.jp**